



### 【型番構成】

RS1 - □ □ □ □ - □ - □ - □  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

項目	コード	仕様
基本型式	RS1	端子箱付シース測温抵抗体 ストレートタイプ
① 許容差	A	JIS クラスA Pt100Ω
	B	JIS クラスB Pt100Ω
	JA	旧JIS クラスA JPt100Ω
	JB	旧JIS クラスB JPt100Ω
② 使用温度	L	低温用 (-196~+100℃)
	M	中温用 (0~+350℃)
	H	高温用 (0~+500℃)
③ 素線数	S	シングルエレメント
	D	ダブルエレメント
④ 端子箱	N	標準型 アルミダイカスト (防滴)
	F	特殊型 フェノール樹脂 (防滴)
	T	両口型 (2方向) アルミ鑄造 (防滴)
	W	両口型 (同方向) アルミ鑄造 (防滴)
⑤ シース外径	K	小型 アルミダイカスト (防滴)
	E	φ3.2mm (SUS316) ※シングルエレメントのみ
	F	φ4.8mm (SUS316)
	G	φ6.4mm (SUS316)
⑥ 挿入長	H	φ8.0mm (SUS316)
	□□□	端子箱下長さ (mm)
⑦ 特記事項	S	

### 【製品概要】

RS1は端子箱付としては最もシンプルな形状のシース測温抵抗体です。ルーズフランジ (LFL) やコンプレッションフィッティング (CFG) と組み合わせる事により、シース長の調節が可能な挿入型としてダクトやタンク等の温度計測に使用できます。

### 【標準仕様】

素子 : Pt100Ω 抵抗素子  
 導線方式 : 3線式  
 許容差 : クラスA  
           ±(0.15+0.002|t|)  
           クラスB  
           ±(0.3+0.005|t|)  
 測定電流 : 1mA  
 素子数 : シングル、ダブル  
 絶縁抵抗 : 125Vにて100MΩ以上

### 【特別仕様】

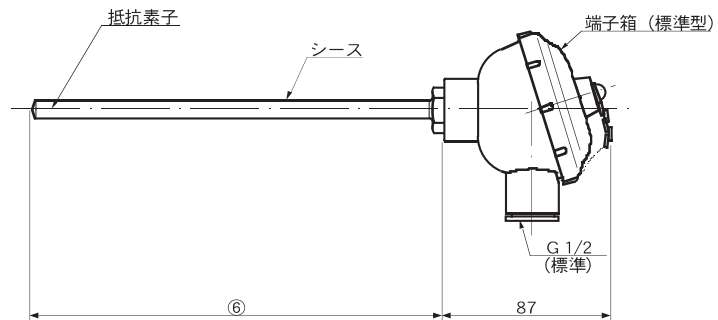
◇変換器内蔵 (DC4~20mA出力)  
     ※シングルエレメントのみ  
 ◇シース部曲げ加工

### 【オプション】

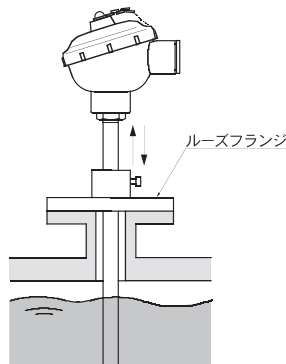
◇ルーズフランジ (LFL) P91  
 ◇コンプレッションフィッティング (CFG) P92

※シース先端には抵抗素子が入っていますので、先端から100mm以内では曲げないで下さい。  
 ※最小曲げ半径はシース外径の5倍以上として下さい。

### 【外形図】



### 【使用例】



試験的に計測位置の深さを変える場合や、現地で深さを調節する場合等はオプションのルーズフランジ等と組み合わせて使用します。  
 但し、ルーズフランジ、ルーズねじは気密性がありません。又、コンプレッションフィッティングはある程度の気密性がありますが、一度締め付けると、位置の変更ができませんのでご注意下さい。

→保護管タイプは12ページをご覧ください